

第4回 武蔵野市学習者用コンピュータ活用検討委員会 議事要旨

日時	令和3年7月6日（火）午後3時15分～4時20分
場所	武蔵野総合体育館大会議室
参加者	委員長、委員15名、事務局2名 計18名

- 配布資料
- 第4回 武蔵野市学習者用コンピュータ活用検討委員会 次第
 - 武蔵野市学習者用コンピュータ活用検討委員会（第2回）名簿
 - 第2回 ICT活用推進リーダー連絡会（6月17日）報告（資料1）
 - 夏休み中の活用について（資料2）
 - パスワードの取り扱いについて（資料3）
 - 活用事例の収集について（資料4）

■内 容

1 開会

資料の確認

2 事務局から

(1) ICT活用推進リーダー連絡会の報告（資料1）

(2) 夏休み中の活用について（資料2）

（事務局）

- ・ 資料2の学習者用コンピュータの持ち帰りについては、操作の習熟度等の状況を鑑み、持ち帰らないことも可とする。

（委員長）

- ・ 資料について、ご意見などはあるか。また、家庭持ち帰り中の学習者用コンピュータの活用について、何かアイデアはあるか。

（委員A）

- ・ 小学校第1，2学年の持ち帰りについては、ご家庭に学習者用コンピュータを見ていただきたいという意図もある。必ず学習者用コンピュータを使用した宿題を課す必要はない。例えばオリンピック・パラリンピック教育に関する調べものでもよいと思う。
- ・ 持ち帰りを実施しない場合は、学校から家庭へご説明をお願いしたい。
- ・ 様々な用途で活用していただければと思う。

(委員長)

- ・ 活用のアイデアについては、全校へ周知をお願いしたい。

(委員A)

- ・ 何らかの形で全校へ提示をする。

3 協議

(1) パスワードの取り扱いについて (資料3)

(事務局)

- ・ 児童・生徒が覚えやすいように、パスワードは自分で変更することを可とする。定期的な変更は求めない。
- ・ パスワードが分からなくなってしまった場合は、学校の管理アカウントでリセットをする。
- ・ 変更の際は、保護者と一緒にパスワードを考えるよう指導をお願いしたい。
- ・ パスワード失念等により学習者用コンピュータが使用できない場合の代替手段も必要である。

(委員B)

- ・ 文具と同様の対応とのことだが、具体的にはどのように対応すればよいか。予備を貸し出すのか、他の手段を準備するのか。

(事務局)

- ・ どちらも該当する。状況に応じて対応してほしい。

(委員C)

- ・ 例えば調べ学習については、図書館の本を調べる、予備の端末を使用する等、いくつか代替の方法は考えられる。

(委員長)

- ・ 変更したパスワードを忘れてしまった場合は、管理アカウントで取得することができるのか。

(事務局)

- ・ 現在のパスワードを取得することはできない。変更したパスワードをその子自身が管理できるかを見極めて指導する必要がある。

(委員長)

- ・ 児童・生徒自身でパスワードを変更してもよいとしているが、これについて意見はあるか。

(委員D)

- ・ この運用は、小学校低学年も対象か。

(事務局)

- ・ お見込みの通り。

(委員D)

- ・ 変更したパスワードを覚えていられないことが懸念されるが、了解した。

(委員長)

- ・ 中学校の先生方からもご意見をいただきたい。

(委員E)

- ・ 生徒たちは当初のランダムなパスワードであっても記憶をしているので、パスワードの変更を強制しないのは運用しやすくよいと思う。他の Web サイトとパスワードを共用する心配もないので、原案通りのルールでよいと思う。

(委員長)

- ・ パスワードの変更については、児童・生徒の発達段階及び習熟度に応じて対応するというところで、原案通りとしてよいか。

(全員)

- ・ (異議なし)

(2) 活用事例の収集について (資料4)

(事務局)

- ・ 活用事例の収集を実施していきたい。事例をリンク先にまとめている。
- ・ 委員の方々へのお願いとしては、学習者用コンピュータを活用した指導内容の充実にご協力いただきたいことと、各委員の所属校で他の先生方の事例もご提供いただきたい。

(委員長)

- ・ 活用事例の書式について、ご意見はあるか。

(委員F)

- ・ 他校の理科の事例について、PDF 形式で掲載されているが、スプレッドシートで提供していただければ、他校でもすぐに活用できる。

(委員長)

- ・ いまの意見についてはどうか。スプレッドシートを登録する方法はあるか。

(事務局)

- ・ 確認する。

(委員長)

- ・ 委員の先生方に収集にご協力いただきたいということだが、事例の収集方法について何かご意見はないか。

(委員G)

- ・ 学習者用コンピュータの活用については、日々チャレンジしている。ここで収集するのは効果のあった事例のみか。

(委員C)

- ・ いまはとにかく使ってみることが重要である。
- ・ うまくいかなかった事例も含めて収集することが大切である。事例は沢山あった方がよい。
- ・ 優良事例を選別するのは、事例が一定数収集できた後に実施すればよい。

(委員H)

- ・ 様々な事例を集めることが重要である。うまくいかなかった事例を知ることで、優良な事例が残っていく。

(委員C)

- ・ 事例を投稿することのハードルを上げるよりも、どんなケースでもよいので投稿していただいた方が、意外な好事例を得られるメリットもある。

(委員H)

- ・ 似たような事例であっても、先生によって意図が異なることもある

(委員G)

- ・ 共有ドライブについて、ドライブ内のファイルを移動すると、全体に影響するのかわ。

(事務局)

- ・ お見込みの通り、ドライブを参照・更新する全てのユーザーに影響する。

(委員G)

- ・ 現在は全ての事例を同一のフォルダに投稿することになっているが、例えば教科や学年等で分類した方が整理しやすいのではないか。

(事務局)

- ・ 小学校は学年、中学校は教科ごとに分類すると整理しやすいと考える。現在は日付の新しい順に表示されるようにしている。整理の作業は事務局で行う。

(委員長)

- ・ まずは事例を多数集め、精査を事務局で行うという流れでお願いしたい。
- ・ 期限はどうか。

(事務局)

- ・ 次回委員会を予定している10月はどうか。

(委員C)

- ・ 来年3月までとし、10月はその前半とするのはいかがか。
- ・ どんな事例であっても投稿をお願いしたい。委員の先生方ですべて収集を行うというのではなく、他の先生の事例を収集する等、うまく分担を図ってほしい。

4 その他

(委員F)

- ・ 児童・生徒のパスワードのリセットについては、学校へ連絡済みなのか。

(事務局)

- ・ 4月末に校長・副校長へ連絡済みである。

(委員F)

- ・ 前回の委員会で議題になったが、マウス等のアクセサリについては、個人で用意するのか、学校の予算で購入するのか。

(事務局)

- ・ パソコン教室のマウスについてはリース品であるため、いずれ返却が必要である。

(委員F)

- ・ PTAはお便りに二次元バーコードを掲載しており、こちらでも取り入れてみたいが、学校情報システムパソコンで作成する方法はあるか。

(委員E)

- ・ バーコードを作成できる Web サイトがある。

(委員F)

- ・ Web サイトを使用することについては、著作権等の問題はないか。

(事務局)

- ・ 特に問題ない。

(委員I)

- ・ 小学校1、2学年が夏休み期間中に学習者用コンピュータを家庭へ持ち帰るので、保護者向けマニュアルをクラスルームまたは学校ホームページに掲載しても良いか。

(委員H)

- ・ マニュアルの内容が公開しても支障のないものか確認する必要がある。

(委員A)

- ・ 保護者以外の方が見ることを想定していないので、クラスルームへの掲載は構わないが、ホームページへ公開する場合はパスワード付きのページに掲載をお願いしたい。

(事務局)

- ・ 電子ファイルは、周知用 のクラスルームに掲載してある。

(以上)